## 鉄筋を人力で運搬中、仮置きしている鉄筋で足を切る

切れこすれ一 3

	発生	月日 時	8月	2日(水) 1	11時	15分	エ	事内容	分譲マンシ	ョン新築.	エ事ーR	C造·11降	谐∙延床65	00m2·42戸	i				
	被災	災者 職	種	鉄筋工	経	E験年	Ē	所属	元請	直営	O27	欠会社	1人親方	請負外契約	1		初期の対策	 	
		被災程	度			-	-										例期の対策を	状況含む事項(写真含)	
		被災者は、長尺鉄筋を人力で運搬中、置いてあった加工筋の端部に接触し被災。														左足首の表皮の浅い傷の裂傷で、血が多めに出たため心配したが縫うほどでもなく			
	]	加工筋は切断面が鋭利な刃物のようになっていた。													テーピング等にて治療が終わり、不休災害であった。				
災害発生時記録	<sub>555</sub>										B	1							
発	災害											The state of the s	OF THE PARTY OF	The same of the sa					
生   時	発生状												-						
記録	状     況												BARA A	AL A					
亚米	(			***************************************						2 1	L U D								
	写真		鉄	筋と左足首	接触					5									
									1	1			5/9/6						
	-								1		1								
									26	NET THE RESERVE	-								
										77		A							
番号		災 害 発 生 要 因								人的 要因	物的 要因	管理的要	更	   同種工事の再発防止対策			   コメント(追記・確認すべき事項)		
号 			•		_	_ ^	_			安凶	安亾	因			1. 2 1.2				
1	鉄筋0	り切断面が	刃断面が刃物のように危険な状態となっていることの認識							0	0	0	担当責任	担当責任者はKY活動時などに鉄筋の切断面は危険であることを				マンションの鉄筋組立て作業場は狭い場所で多くの 材料を使用するため、固定した安全通路の設置は困	
	がなか	いったこと。											周知させ	·る。				↑材料を使用するため、固定した安全通路の設置は困 ・難な場合が多い。 しかし本事例のような災害も発 ・生することから何らかの対策が望まれる。	
2	通路に											0	切断面が	「通路の反対(	側にな	るように置く。			
													切断面が	バ通路側に来る	る場合	は、カラーコーン等で養生			
3	重量物	勿を担いで	 を担いでいたため、疲れていて角材ばかりに気を取られ										敷角材が	  敷角材が通路にはみ出さないよう設置した。			1		
	ていた																	<u></u>	
	<u> </u>																		
	ļ																		
 	<u> </u>											<u></u>							
<b> </b>	<u> </u>																		